

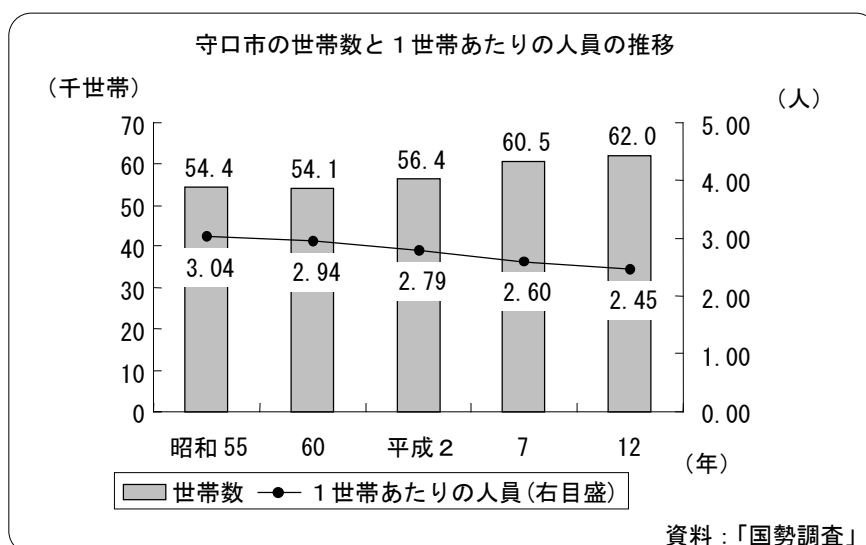
### 3. 家庭や地域の動向

#### (1) 世帯の動向

##### ① 世帯数の推移

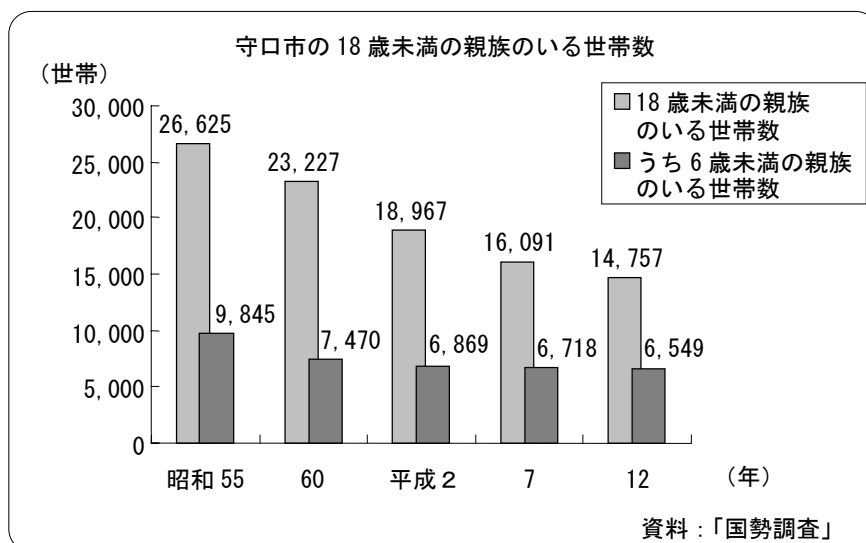
守口市の世帯数は昭和60年ごろから増加が続き、平成12年には62,037世帯となり、昭和60年に比べ7,900世帯、14.6%増加しています。

世帯数が増加する反面、1世帯あたりの人員は減り続けており、昭和60年の2.94人から平成12年には2.45人と15年間で0.49人減少しています。これは夫婦のみ世帯、ひとり親世帯、単身世帯が増加したことが大きな要因です。



##### ② 子どものいる世帯の状況

18歳未満の親族のいる世帯数は平成12年14,757世帯であり、このうち、6歳未満の親族のいる世帯数は6,549世帯で、いずれの世帯数も減少が続いています。



1世帯あたりの子どもの数は、18歳未満の子どものいる世帯、6歳未満の子どものいる世帯いずれも全国、大阪府とも減少傾向が続いています。

一方、守口市の1世帯あたりの子どもの数は、18歳未満のいる世帯では平成2年以降1.73人を維持し、平成12年は大阪府平均1.72人を上回っています。また、6歳未満の子どものいる世帯も平成7年以降1.35人で下げ止まり、大阪府平均の1.33人、全国平均の1.32人を上回っています。

＜1世帯あたりの子どもの数＞ (単位：人)

		昭和 55	60	平成 2	7	12
18歳未満の子どもの いる世帯	守口市	1.84	1.78	1.73	1.73	1.73
	大阪府	1.82	1.79	1.76	1.73	1.72
	全国	1.84	1.83	1.81	1.78	1.75
6歳未満の子どもの いる世帯	守口市	1.35	1.38	1.37	1.35	1.35
	大阪府	1.37	1.37	1.36	1.34	1.33
	全国	1.38	1.38	1.37	1.34	1.32

資料：「国勢調査」

## (2) 女性の就労状況

平成12年の守口市の労働力人口は、77,352人でこのうち女性は30,508人です。15歳以上人口に占める割合である労働力率は、男性の73.3%に対して、女性は45.5%で男女間の格差は、昭和55年の38.5ポイントから27.8ポイントまで縮小しています。これは男性の労働力率が概ね減少傾向が続いている一方で、女性の労働力率が平成7年までは増加基調にあったことや、平成7年から平成12年にかけて男性が8.2ポイント低下したのに対し、女性は2.8ポイントの減少に留まったことによるとみられます。

